

表 有効積算温度計算シミュレーションによるチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

地点	長崎	佐世保	大瀬戸	口之津	平戸
第7世代	<b>8/29</b>	<b>8/30</b>	<b>9/11</b>	<b>9/2</b>	<b>9/17</b>
〃 (平年)	9/8	9/18	9/23	9/9	10/2
〃 (前年)	9/5	9/5	9/21	9/10	9/22
第8世代	<b>9/17</b>	<b>9/19</b>	<b>10/5</b>	<b>9/21</b>	<b>10/14</b>
〃 (平年)	9/29	10/13	10/21	9/30	11/8
〃 (前年)	9/27	9/26	10/19	10/3	10/20
第9世代	<b>10/10</b>	<b>10/16</b>	<b>11/11</b>	<b>10/17</b>	
〃 (平年)	10/28	10/22		10/31	
〃 (前年)	10/23	10/22		11/3	
標高(m)	27	4	43	10	58

注1:発生ピーク予測日は気象庁アメダスの気温データを用いて有効積算温度により算出した。なお、積算には2018年9月2日までは観測値を、以降は平年値を使用した。

注2:同一地区内でも、山間部では発生ピーク予測日が異なる場合があるので注意する。また、今後の気象条件により予測日は前後する場合がある。

注3:表中の発生ピーク予測日の5日前から発生ピーク予測日の期間に薬剤散布をすると防除効果が高い。なお発生が多い園では、1果当たり寄生虫数が0.1頭に達する前に防除を行う。